

## Joint Media Release

2017年12月6日

この資料は BASF 本社が 2017 年 12 月 1 日に発表した英語のプレスリリースを BASF ジャパンが日本語に翻訳・編集したものです。

### IRRI と BASF、稲の直播栽培をアジアで促進するために提携

国際稲研究所 (International Rice Research Institute, IRRI) と BASF (本社: ドイツ ルートヴィヒスハーフェン) は、稲の直播栽培用のツールと技術をさらに普及、導入するため、3 点の合意書に署名しました。今回のパートナーシップでは、IRRI と BASF がマルチステークホルダー方式の DSR コンソーシアムを設立し、非遺伝子組み換えの除草剤耐性を備えた稲の利用に関する研究を進める予定です。

直播は最適条件下であれば、手作業で稲を植えるよりも効率が良く、安価な稲作法と考えられています。労働力や水など必要なリソースの量は少なく、他の稲作法と比較すると、温室効果ガスの排出も低減できます。

直播栽培は米国や南アメリカでは広く実践されていますが、雑草の蔓延による収量ロスが多いため、アジアでは広範な導入が進んでいません。

今回の新たな研究コンソーシアムでは以下の目的を掲げています。

- 水稲直播栽培、および乾田直播栽培 の安定した機械化システムの開発
- 雑草管理ソリューションの調査
- 直播栽培を行うアジアの稲作農家に適した農学実践の構築

また、今回のコンソーシアムにより、IRRI は直播栽培技術を開発し、アジアの環境条件に適した稲の品種を試験できるようになります。官民両セクター、研究組織、NGO、生産者団体の方々もコンソーシアムに加入できます。

IRRI の研究担当副所長であるジャクリーン・ヒューズは、次のように述べています。「世界中の人々に食糧を供給することは、公的機関だけの問題ではありません。民間セクターを含む、あらゆる人々の貢献が必要です。今回のパートナーシップにより、IRRI のような組織が BASF のような企業と、持続可能な開発という共通の目標に向けて緊密に連携することができます。」

稲の直播栽培システムにおいて雑草の侵入を確実に防除するため、今回のパートナーシップでは、非遺伝子組み換えの除草剤耐性を備えた稲に関する研究も進めていきます。こうした品種は市場に投入後、第三者組織によって稲の生産性、収益性、生態学的な持続可能性への影響が評価されることになります。

アジア太平洋地域 で BASF 農薬事業本部を率いるグスタボ・パレロシ・カルネイロは、次のように述べています。「今回の IRRI とのパートナーシップにより、当社の領域と専門知識はさらに拡大していくでしょう。それが、Clearfield® Production System や Provisia® Rice System などの稲作技術がより迅速かつ広範に普及することに貢献し、米の生産性と稲作農家の収入の向上にもつながると私たちは確信しています。今回の提携により、重要かつ環境的に持続可能な形で、食糧確保に貢献する製品やプログラム支援を提供できることを私たちは嬉しく思います。」

※このプレスリリースの内容および解釈については英語のオリジナルが優先されます。

#### ■国際稲研究所について

国際稲研究所(International Rice Research Institute, IRRI)は、国際協定のもと 1960 年に設立された非営利の自律的な非政治国際組織です。共同研究やパートナーシップ、国による農業研究や拡張システムの強化を介し、ライスサイエンスを通して貧困と飢餓を撲滅し、稲の生産者と消費者の健康を促進し、環境の持続可能性を確保することを目指しています。

#### ■BASF の農薬事業本部について

世界の人口が急速に増加するなか、持続可能な農業と健康的な環境を作り出し維持する BASF の果たす役割はますます大きくなっています。BASF の農薬事業本部は、生産者や農業従事者、害虫駆除業者などの方々と共にこの状況に対応しています。こうした方々の協力のもと、BASF は活発な研究開発パイプラインを有し、製品・サービスの革新的なポートフォリオを提供しながら、研究室や現場に専門家チームを配し、お客様の事業を成功に導く手助けをしています。2016 年、BASF の農薬事業本部の売上高は 56 億ユーロを超えました。農薬事業本部についての詳細は [www.agriculture.basf.com](http://www.agriculture.basf.com)、または各種ソーシャルメディアをご参照ください。

## ■BASFについて

BASF(ビーエーエスエフ)は世界をリードする化学会社(本社:ドイツ ルートヴィッヒスハーフェン)で、持続可能な将来のために、化学でいい関係をつくります。また、経済的な成功、環境保護、そして社会的責任を同時に実現しています。BASFでは、約114,000人の社員一人ひとりがほぼすべての産業、ほぼすべての国においてお客様の成功に貢献できるよう努めています。製品ポートフォリオは化学品、高性能製品、機能性材料、農業関連製品、石油・ガスの5つの部門から成ります。2016年、BASFは約580億ユーロの売上高を達成しました。BASFの詳細情報は、[www.basf.com](http://www.basf.com)(英語)、[newsroom.basf.com](http://newsroom.basf.com)(英語)、[www.basf.com/jp](http://www.basf.com/jp)(日本語)をご覧ください。